

会議録

会議名	第1回 八王子市子ども・若者育成支援センター愛称候補選出会議	
日時	令和5年(2023年)11月12日(日) 午前10時00分~12時00分	
場所	八王子市北野子ども・若者育成支援センター 遊戯室	
出席者氏名	参加者	角中 明香里、吉良 松風、佐藤 若菜、中島 瑛太、中本 慧、野村 歩、山中 美幸、山本 創太
	説明者	井垣 利朗主査、中島 功主査
	事務局	永井 太主査、山田 友索主査、後藤 康次主査
欠席者氏名	小林 千乃、宮下 杏奈、森 美月	
議題	愛称の選出方法について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	
配付資料名	愛称募集チラシ	
会議の内容	<p>○自己紹介 ○施設内見学</p> <p>【説明者】 ○子ども・若者育成支援センターとは ○愛称の募集とこの会議の役割</p> <p>【説明者】では、2つのグループに分かれて各自愛称案を出し合い、意味合いや文字種などで分類してみましょう。</p> <p>【参加者グループA】 ○なじみがない言葉だとわかりにくい。 ○短くても言いづらかったりする。 ○20代のとのかかわり方が想像しにくい。 ○若者のステップアップが未来につながるイメージはわかる。子どもは遊ぶことが中心となると、ちょっと違う。 ○児童という言葉によって、中高生が来にくい感じはしていた。</p>	

- 中学生は、学校では生徒と呼ぶ。
- 英語を使うと小さい子にとってわかりにくいかな。
- カタカナに定着しているような英語ならいいかと。
- 「じゆう」を違う文字に置き換えた案もいいなど。
- 「はちっ子」という言葉。地域に根付いている感じが出ている。
- 「あおはる」、青春の読み方をあえて変えた例もある。

【参加者グループB】

- 複数の言葉の頭文字をとってつなげて一つの案とするとか。
- 遊び・運動とかのイメージがある。
- ローマ字 3 つに一文字ごと意味付けてみたら。
- 八王子というと、いちよう、ぎんなん。高尾山。

【説明者】次回、多くの候補の中から選出することとなる。この後の時間は選出の方法も考えてもらいたい。

【参加者グループA】

- 八王子にちなんだ名称から選ぶとするなら、あらかじめ募集の段階からそのように指定する方法もあった。この段階で八王子にちなんだだけに絞るのは、応募してくれた人に失礼になるのではないか。
- 流行に左右されない言葉であるべき。
- 同類の案の応募の多さで決める、という選び方にはならないのでは。
- 八王子らしさ、中高生が来やすい、マニアックでない、流行ものではないなど。

【参加者グループB】

- 地元関連の言葉と他の言葉を結び付けるとか。
- 重視したほうがいい点とかあるかな、逆によくないものとか。
- 一目でわかるようなものがいい。
- 聞きなれない英語とか、難しい言葉は良くないのでは。
- 子どもナントカ、若者ナントカなど、安易なものは避けたい。
- 難しい漢字にはふりがなが欲しい。
- 何が重要だろうか。
- 地元かな。
- 地元。「八」を入れるとか。
- ぎんなんはにおいがマイナス。
- ポジティブな用語が入ったほうがいい。

【事務局】次回、集まった愛称案の提示の仕方はどうでしょうか。事務局で八王子らしさに絞ってきましようか。

【参加者】絞らないで全部提示してほしい。私たちがここで想定していなかつ

	<p>た案が出てくるかもしれない。</p> <p>【事務局】情報を整理して提示するにあたり、ある程度、分類の仕方を考えたい。八王子らしさのほかには。</p> <p>【参加者】中高生以上も来やすいとか、15 歳から 29 歳までがイメージできるというのも。</p> <p>【参加者】略しているものとか。</p> <p>【事務局】これら意見を参考に分類・整理したうえで、次回、全データをお示します。本日はお疲れさまでした。</p>
--	---